

① 町議選での詐欺事件について

令和5年度は長与町議会議員選挙から、候補者カー運転手の日当やポスター代など、選挙費用にかかる一定分について公費負担が実施されました。

さる9月28日付の長崎新聞で、選挙運動用自動車（いわゆる候補者カー）の運転手費用に関し、候補者の1人が、運転業務に従事していない男性について運転したと偽って町に申請していたこと、町はこの件を警察へ被害届けを出したことが報道されました。前代未聞のことであり、複数の住民から詳しい実情を知りたいとの問い合わせが来ています。

今回の事件は町と町民が被害者である可能性があります。問題が発覚した経緯と町としてどのような対応をとってきたのか伺います。

② 町財政の現状認識について

議会主催の議会報告会で、参加していた町民から町の財政について質問が出されました。議会発行の議会広報と併せ、行政が発行する広報ながよでも予算、決算の状況を住民向けにわかりやすく知らせる努力をしているものと認識していますが、引き続き、広報することと説明をしていくことの必要性を実感しました。

財政は今後の状況を慎重に見ていくべき部分と、過度に悲観視する必要がない面との両方を捉えているつもりですが、あらためて今後の財政運営について以下の点を質問します。

- (1) 新図書館を含め公共施設の更新対策にかかるものは、どう推移していく見通しでしょうか。
- (2) 民生費のうち今後増額が見込まれるものは、どう推移していく見通しでしょうか。
- (3) 自主財源（町税など）はどう推移していく見通しでしょうか。
- (4) 現在把握している財政指標から、本町が財政破綻をきたす可能性は考えられるでしょうか。
- (5) 広報ながよで財政状況を掲載する際、どのような点を留意しているでしょうか。

③ 前期基本計画にある農業、商工業の創造性と活性化策について

前期基本計画の基本目標3には、創造性と活力ある産業について、各種の活性化策と目標が掲げられています。そこで以下の点を質問します。

- (1) 農業生産基盤の充実・維持管理の項目でイノシシやアナグマ等の有害鳥獣対策を推進することとされていますが、令和5年度、収穫直前の柑橘類を中心に例年以上にイノシシなどによる被害が遭っているとの声があり、生産意欲が減退しているとも聞いています。こうしたことから対策を強化する必要があると思います。被害の現状と対策強化策の考え方を伺います。
- (2) 県内の市町では、「さしみシティ」「アジフライの聖地」など、創造性、独自性を訴求する工夫がみられます。先日、町民の方からクスノキ材活用の提案をいただきました。衣類用防虫剤としての化学薬品が開発される以前は、クスノキ（樟脳を含む）が用いられていたそうですが、町内の楠の枝材を防虫剤、芳香剤として復活させる提案でありました。町内各所に植わっていますが、楠は成長が早いことで知られ枝が伸長していきます。これを剪定した際、通常は廃棄処分となりますが、加工製品化しPRを行えば”町の特産品の創造”につながると感じました。町内団体や個人と協議検討、研究ができないか質問します。